

ロボットを動かそう

少年少女発明クラブ

プログラミング学ぶ

大館

大館少年少女発明クラブを
対象にしたロボットプログラ
ミング教室が2日、大館市の
秋田職業能力開発短大で開か

れた。小学3〜6年生20人が、
操作方法などを教わり、もの
づくりへの興味を膨らませ
た。



プログラミングしたロボットを実際に動かす参加者
(秋田職能短大)

市教委や大館商工会議所な
どでつくる「おおだてロボッ
ト人材育成コンソーシアム」
(佐藤義晃会長)が主催。論
理的思考や課題解決能力を磨
くことを目的に毎年開かれて
いる。

初級には16人、中級に4人
が参加した。クラブの指導員
や短大教員から、車輪の付い
たロボットを操作するプログ
ラム入力などについて教わっ
た。

前進や犬の鳴き声で「ワ
ン」とほえるなどの動作を入
力し終えると、実際に動くか
どうか挑戦。コースから外
れ、予想外の動きをすること
もあり、子どもたちは「どう
して」と首をかしげた。指導
者の助言を受けて原因を探
り、プログラミングをやり直
して問題解決に挑んでいた。